

御殿堰 大黒天便り



◆第二五号◆

山形市中心市街を流れる御殿堰。その豊かな水の流れを見守っているのが私「御殿堰大黒天」です。

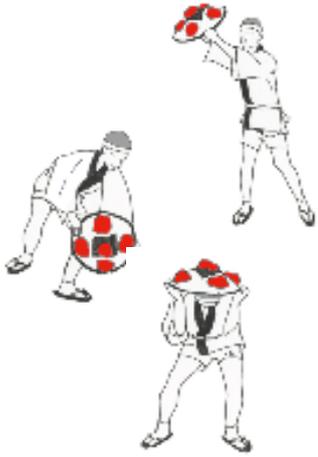


「大黒天便り」では、わたし大黒天が御殿堰の歴史・季節の話題・生活の知恵など『なるほど!』と読んでいただけたらと思います。お伝えしていきたいと思っております。今回は第二五号です。

◆花笠祭五〇年◆

山形の夏と言えば「花笠祭」。今年で、第五〇回を迎えます。大きな節目を迎える今年には、過去最高の約一万三四〇〇人(一五二団体)の踊り手が参加するようです。これまでの過去最多の踊り手は二〇一〇年の一三六団体、一万二一六四人。昨年は東日本大震災の影響もあり、これを下回る一三三団体、一万二〇四一人だったそうです。

文翔館前にある「イルミネーションアーチ」にも「五〇」の文字が輝いています。花笠やさくらんぼ等の名産品を描いた横断幕が浮かび上がり、五〇回という節目を迎える県都の祭を盛り上げています。



◆布四季庵

リニューアルオープン

七月二十七日(金)、水の町屋御殿堰二階に店舗を構える「布四季庵」はリニューアルオープンを致しました。

店舗の広さが約二倍となり、手織り機を設置して織りを体験できるコーナーを新設する予定。お買い物だけでなく、米沢織の魅力を感じることができる観光スポットとしてもお楽しみいただけるようになります。

布四季庵では、米沢織維協同組合連合会に加盟する約二五社が、和服や洋服をはじめ、ストールやバッグ、傘、帽子といった小物類まで多彩な商品をそろえています。リニューアルに伴い、品揃えをより充実させる他、米沢織の文化そのものに触れることができる場所にしていきます。新しくなった「布四季庵」に、是非足を運びください。

◆米織小紋

期間限定オープン

七月二十八日(土)〜八月七日(火)の期間限定で、『米織小紋』発表展示販売会を開催しています。

伝統的な小紋柄を米沢織の先染めジャカードで織り上げた「米織小紋」。現代のライフスタイルに調和する和のアクセントとして、ファッション小物からインテリアグッズまで米沢の織物にこだわった製品を取りそろえています。花笠祭、夏祭にぴったりの巾着やバッグ、信玄袋がそろっています。水の町屋御殿堰二階へ、和の涼を求めに是非ご来場下さい。

【期間】

七月二十八日〜八月七日

【時間】

一時〜一九時

※八月五日〜七日は二時迄営業

【お問合せ】

有限会社フォトテックス
山形県米沢市築沢一七九〇の一
〇二三八(三三)二〇一〇

◆風鈴夏涼み開催

七月二十八日・二十九日の二日間、御殿堰で「手作り風鈴絵付け」が開催されました。今年が二回目の開催。白い素焼きの風鈴に、それぞれオリジナルな絵付けをしていきます。

今年は花笠祭五〇年ということで「花笠」をテーマに絵付けをしていただきました。風にそよぐ風鈴の音色は、堰を流れる水の音と合わさってとても涼しげな音でした。

この風鈴は八月三日まで紅の蔵に展示され、紅の蔵へお越しの制作者へお返しすることになっています。



◆大打ち水開催

山形市は一九三三年七月二十五日午後三時に、当時の日本最高気温である「四〇・八℃」を観測しました。以後七四年間保持していた記録も、二〇〇七年に抜かれてしまいました。

二〇世紀中に日本最高気温を記録したまち「山形市」。『冷蔵庫やエアコンのない時代から日本一暑かった「歴史」や、そのような自然環境とうまく付き合ってきた「生活文化」を忘れることなく、後の世代にも伝えていくように」と、毎年七月二五日、まちなかで一斉に打ち水を行っています。



◆夏本番

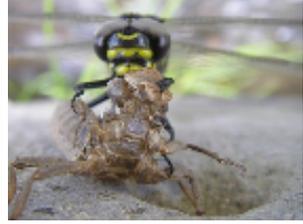
七月に入ると、ヤゴたちの羽化が始まるようです。今年もたくさんさんのヤゴが羽化し、トンボとなって御殿堰から飛び立っています。

オニヤンマ・ハゲロトンボ・ノシメトンボ。今年は3種類のトンボたちに出会いました。

去年・一昨年は、堰の石積みにヤゴの抜け殻がありました。今年もヤゴは頑張り屋さんなのか、町屋の壁に抜け殻を多くみかけるようになりました。

みんな無事に飛び立ち、来年もまた御殿堰からヤゴが羽化していくと良いですね。御殿堰に季節感を届けてくれる昆虫や草花については、発見の都度ホームページに掲載していきます。

是非、ご覧になってみてください。



次号の発行は九月七日です。
来月も皆様と紙面でお会いできるのを楽しみにしています。